中等度ウイルス性仮性クループ

# カリキュラムの情報

**ターゲットグループ**: 救急診療部の医療従事者 **参加者数**: 保護者役を含め 2～3 名 **シミュレーション時間**: 15 分 **ディブリーフィング時間**: 30 分

## 学習目的

* ウイルス性仮性クループの徴候と症状を識別する
* 熱性痙攣の正しい治療を示す
* 中等度上気道閉塞の正しい治療を示す
* エピネフリンとコルチコステロイドの正しい投与方法を示す

## シナリオの概要

このシナリオには、インフルエンザに続発した中等度ウイルス性仮性クループと熱性痙攣を呈した生後 12 ヵ月の男児が登場します。この男児は夕方にひどい犬吠様咳、嗄声、喘音が始まり、午前 2:15 に父親によって救急室に連れて来られました。呼吸窮迫のほか、軽度の吸気性陥没と鼻汁がみられ、体温は 38.6°C、SpO2 は 96%、心拍数は 149 回/分、呼吸数は 48 回/分でした。血圧は 83/48mmHg です。

3 分シナリオでは、この男児の熱性痙攣は 2 分間続きます。

上気道閉塞の評価の際に小児科の系統的アプローチを利用すること、また熱性痙攣を認めて、治療に関して保護者とコミニュケーションを取ることが求められます。中等度仮性クループの徴候と症状とともに、酸素飽和度の軽度の低下を認識し、酸素療法、アドレナリンおよびコルチコステロイドによりこの病態に対処する必要があります。  
バイタルサインは、適切な処置が適用されてから 5 分以上経過してから改善します。

この小児を観察下に置き、病態と治療法を保護者に伝える必要があります。

## ディブリーフィング

シミュレーションが終了したら、ファシリテーター主導のディブリーフィングを実施して学習目的に関連するトピックについて考察することが推奨されます。ディブリーフィング時の質問例については Session Viewer のイベントログをご覧ください。主要な討議ポイントは次の通りです:

* ウイルス性仮性クループのさまざまな病期
* 小児ケアにおける熱性痙攣
* 重症度別のウイルス性仮性クループの治療

## 参考文献

Ian K. Maconochie, Allan R. de Caen, Richard Aickin, Dianne L. Atkins,Dominique Biarent, Anne-Marie Guerguerian, Monica E. Kleinman, David A. Kloeck,Peter A. Meaney, Vinay M. Nadkarni, Kee-Chong Ng, Gabrielle Nuthall, Ameila G. Reis,Naoki Shimizu, James Tibballs, Remigio Veliz Pintos, on behalf of the Pediatric Basic Life Support and Pediatric Advanced Life Support Chapter Collaborators: 2015 International Consensus on Cardiopulmonary Resuscitation and Emergency Cardiovascular Care Science with Treatment Recommendations Part 6: Pediatric basic life support and pediatric advanced life support, in *Resuscitation*, 95 (2015) e147–e168, at <http://dx.doi.org/10.1016/j.resuscitation.2015.07.044>

# セットアップと準備

## 物品

医療物品

* 高度なエアウェイ器具
* 気道補助器具 (経口エアウェイ、経鼻  
  エアウェイ)
* バッグマスク
* 血圧計カフ
* 身長に基づく蘇生用テープ
* カプノグラフィ
* 除細動パッド
* 除細動器/自動体外除細動器 (AED)
* ECG 電極ケーブル
* 点滴物品
* 血糖値測定器
* 輸液ポンプおよび点滴チューブ
* IV/IO 物品
* 酸素供給装置
* 酸素供給源
* パルスオキシメーター
* ネブライザー
* 聴診器
* 吸引装置、チューブ、カテーテル、キャニス  
  ター
* 体温計
* ユニバーサルプレコーションに関する物品

薬剤および輸液:

* アルブテロール
* 抗生物質
* コルチコステロイド
* エピネフリン
* 高張性食塩水
* イプラトロピウム
* 乳酸リンゲル液
* 硫酸マグネシウム
* マンニトール
* ナロキソン
* 生理食塩水
* エピネフリン
* テルブタリン
* 迅速導入剤
* 鎮静薬/鎮痛薬

小道具:

* バシネット
* 乳児用 病衣とおむつ

## シミュレーション前の準備

* 準備が整ったすべての機器と、LLEAP または SimPad に接続した患者モニターを備えた、救急診療室に模した部屋を用意する
* 病衣と乾燥しているおむつをシミュレータに装着し、親の腕にシミュレータを配置する。

## ラーナーブリーフ

*ラーナーブリーフは、シミュレーションの開始前に学習者に対して読み上げる必要があります。*

救急室、午前 02:15

生後 12 ヵ月の男児が発熱し、夕方に犬吠様咳が激しくなり、嗄声を呈し、父親と来院。前日、微熱と鼻感冒を伴う風邪を引いていました。6 歳になるこの男児の姉が自宅でインフルエンザを患っていました。男児が呼吸に合わせた雑音を発し、ますます悪化していくようにみえたため、両親は心配になりました。自宅では体温が 約 38°C になりました。患者のところに行って、観察してください。

シミュレーションの開始前に、シミュレーション室と利用する機器に慣れておいてください。

# シナリオのカスタマイズ

シナリオは、別のまたは追加の学習目的で新たなシナリオを作成する際の基礎として使用することができます。既存のシナリオを変更するには、学習者に期待する介入について、また学習目的、シナリオの進捗、プログラミングおよびサポート資料に対して行う必要な変更について慎重に検討する必要があります。しかし、このカスタマイズの方法は多くの患者情報や、シナリオのプログラミングおよびサポート資料の複数の要素を再利用することができるため、シナリオの数を簡単に増やすことができます。

ご参考までに、このシナリオのカスタマイズの方法について提案させていただきます：

|  |  |
| --- | --- |
| **新しい学習目的** | **シナリオの変更** |
|  |  |
| チームトレーニングに関する学習目標を含める | このシナリオは、チームのダイナミクスとコミュニケーションにも重点を置きます。プログラムに、チーム関連のアクションを記録するイベントを忘れずに追記してください。 |
| 低酸素血症の治療についての学習目標を記載する | タイムリーに治療が行われない場合、シナリオを中等度から低酸素血症と切迫した呼吸停止につながる重症の症例にすることができます。新しいシナリオに合うように、プログラミングとシナリオの動作変更を忘れずに行ってください。 |
| 気道補助器具の利用に関して、学習目的を記載する | 気道補助器具の手段を選択する訓練は、乳児の意識水準と酸素飽和度を低下させることによって高度なエアウェイの挿入の必要性を示すようにして実施することができます。新しいシナリオに合うように、プログラミングとシナリオの動作変更を忘れずに行ってください。 |